

### 3 自然動態

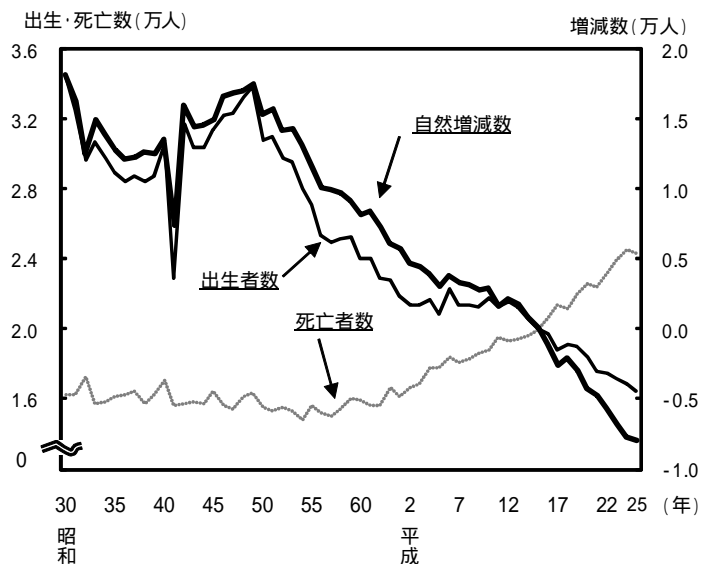
自然増減数 7,893人 前年比 208人

平成 25 年中の自然動態をみると、出生者数が16,481人で、前年に比べ406人減少し、死亡者数は24,374人で、前年に比べ198人減少しています。

この結果、出生者数が死亡者数を7,893人下回る自然減少となり、前年に比べ減少幅は208人多くなっています。

昭和 30 年以降の自然動態の推移をみると、出生者数は第2次ベビーブーム期以降急速に減少した後平成3年から平成12年まで増減を繰り返し、平成13年以降再び減少傾向となっています。また、自然動態は平成16年から10年連続で減少となっています。（図6、5ページ 表2）

図6 自然動態の推移

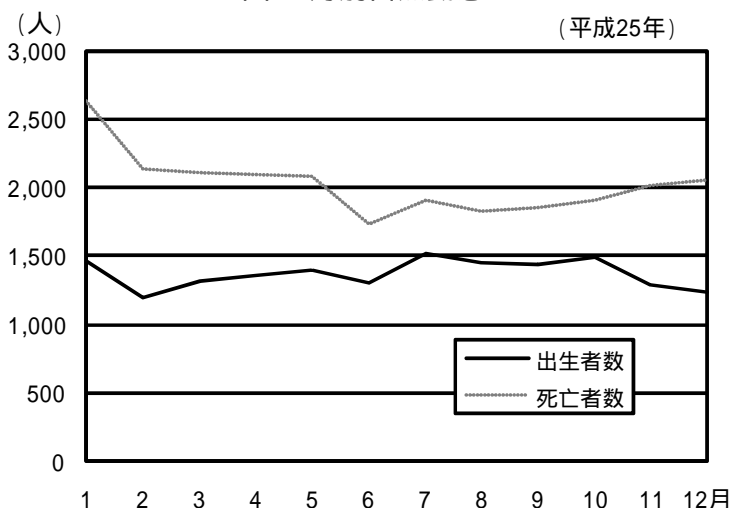


全ての月で死亡者数が出生者数を上回る

平成 25 年の各月の自然動態をみると、出生者数が最も多いのは、7月の1,515人で、以下10月(1,498人)、1月(1,471人)の順となっています。

また、死亡者数が最も多いのは、1月の2,629人で、以下2月(2,132人)、3月(2,110人)の順となっています。（図7）

図7 月別自然動態



自然増加 2村 自然減少 75市町村

自然動態を市町村別にみると、2村で自然増加、75市町村で自然減少となっています。

自然増減率が最も高いのは、南箕輪村の0.43%で、以下宮田村0.01%、茅野市0.04%、諏訪市0.08%の順となっています。

一方、最も低いのは、天龍村の-2.56%で、以下麻績村-2.41%、泰阜村-2.38%の順となっています。（6ページ 表3）